

News Release

平成30年11月14日

保健福祉部

4年ぶりに佐賀県で風しん（3日はしか）患者の発生がありました
～風しんと思ったら事前に医療機関へ連絡し受診してください～

11月13日（火曜日）、唐津市内の医療機関から、唐津保健福祉事務所に風しん疑いの患者発生の連絡があり、同事務所による調査の結果、11月13日（火曜日）に風しんウイルス陽性が判明しました。風しんは、今年の夏頃から首都圏を中心に届出数が増加しており、今後、県内においても感染が拡大する可能性がありますので、感染拡大防止のため、広く情報提供し注意喚起いたします。急な全身性の発疹や発熱などの症状が現れた場合は、事前に医療機関へ連絡の上、受診されるようお願いいたします。また、受診の際は、公共交通機関の利用は控えてください。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第3条において求められているように、患者の人権尊重にはご配慮、ご理解いただきますようお願いいたします。

1 届出患者の概要

年齢	20歳
性別	男性
所在地	唐津市
発症日	11月11日（日曜日）
届出日	11月13日（火曜日）
症状	発熱、発疹、結膜充血、リンパ節腫脹、関節痛、血小板減少

患者の状況等

- 1 1 月 1 1 日（日曜日） 発熱
- 1 1 月 1 2 日（月曜日） 発疹、リンパ節腫脹が出現
- 1 1 月 1 3 日（火曜日） 唐津市内の医療機関を受診し、検査を実施
同日、風しんウイルス陽性が判明

入院の有無 無（自宅療養中）

流行地への滞在歴 有（東京都に在住）

風しんワクチンの接種歴の有無 不明

2 妊婦や妊娠を希望している方へ

風しんの抗体を持たない又は抗体価の低い妊婦（特に妊娠20週頃まで）が風しんに感染すると、出生児が難聴、白内障、心疾患など様々な先天障害を呈する先天性風しん症候群（CRS）を発症することがあります。

風しんの予防には予防接種が有効ですが、妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、抗体を持たない又は抗体価の低い妊婦は、可能な限り人混みを避けるようにしてください。

妊娠を希望している方は、母子健康手帳などで予防接種歴を確認し、特に予防接種を2回受けていない場合（風しんの罹患歴がある方は除く）は医師にご相談の上、抗体検査や予防接種の検討をしましょう。

また、妊婦の周りの方（妊婦の夫、子ども、その他の同居家族など）は、風しんを発症しないよう予防に努めて下さい。

3 市民の皆さんへ

風しんは、感染すると約2～3週間後に発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。

気になる症状があったら、事前に医療機関へ連絡の上、受診されるようお願いいたします。

4 感染予防策について

予防接種は効果的な予防策の1つです。風しんの定期の予防接種（第1期：1歳、第2期：小学校入学前）がまだの方は早めに予防接種を受けていただくとともに、予防接種歴が分からない、風しんにかかったかどうか分からない場合は、抗体検査やワクチン接種を検討してください。なお、定期の予防接種の対象者以外の方は任意接種となり、自己負担が発生します。

また、風しんは飛沫・接触感染するため、外出後、トイレ後、食事の前などには石鹸で丁寧に手を洗いましょう。

5 医療機関の皆様へ

発疹や発熱を呈する患者が受診した際は、風しんの予防接種歴や海外渡航歴の確認、国内の風しん流行地への行動歴の確認等、風しんを意識した診療をお願いします。

臨床症状等から風しんと診断した場合は、速やかに唐津保健福祉事務所へご連絡ください。（電話番号：0955-73-4186）

6 風しんの発生件数（平成30年11月13日現在）

（単位：人）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全国	14,344	319	163	126	91	1,884※1
佐賀	42	1	0	0	0	1※2

※1 全国は、平成30年11月4日現在。

※2 今回の事例含む

（本件の問い合わせ先）

1.佐賀県健康増進課感染症対策担当

電話 0952-25-7075

2.唐津保健福祉事務所健康推進課

電話 0955-73-4186

3.唐津市役所保健福祉部保健医療課

担当：城、井上

電話 0955-75-5161